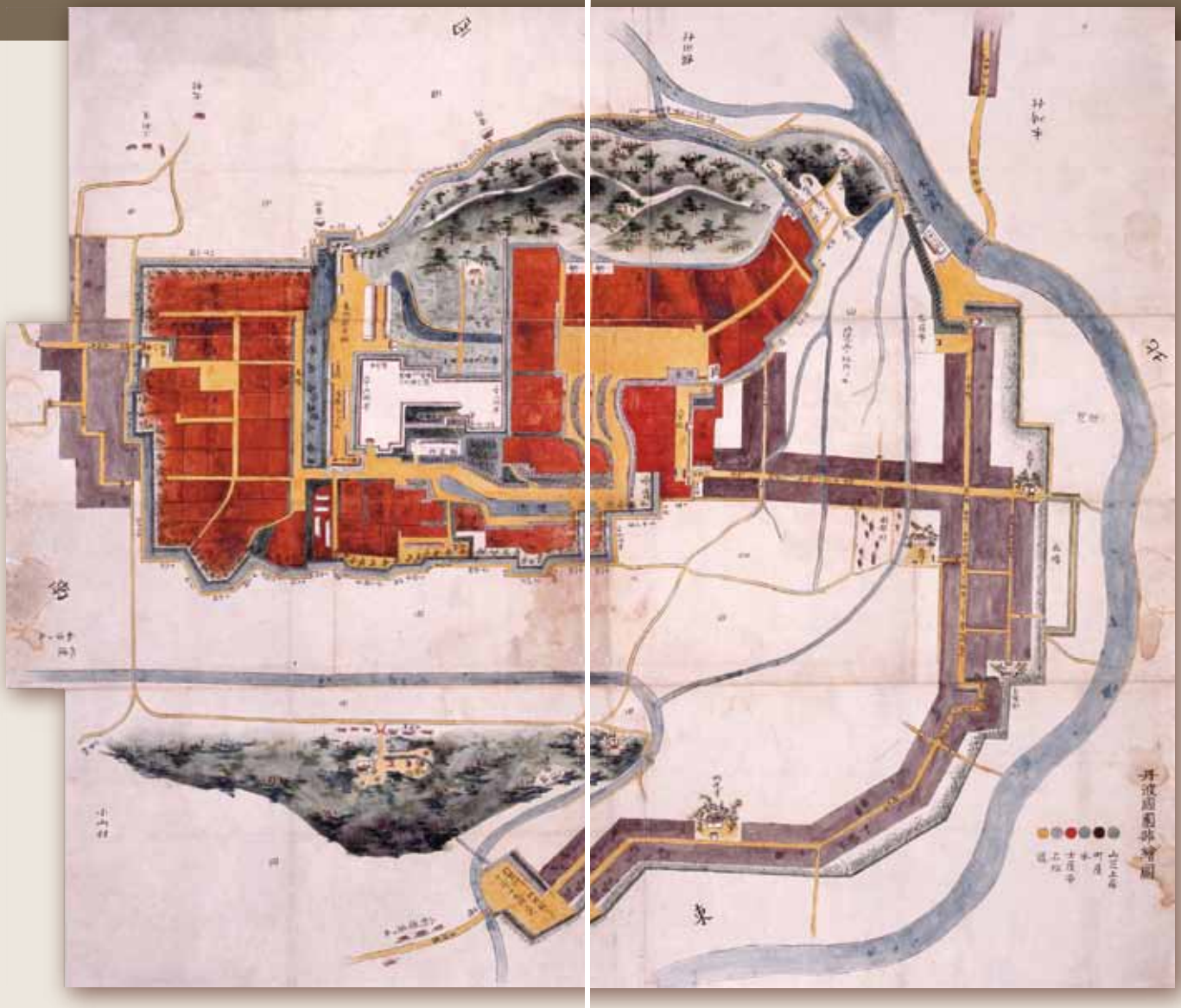
園部城址



丹波国園部絵図（個人蔵）

園部城は元和５年（1619）の園部藩成立後、初代藩主小出吉親が小麦山周辺地に築造を開始し、その２年後に完成したものです。吉親は、この時に櫓も築造しようとしましたが、江戸幕府の許可が得られず、建築は見送られました。このため幕府の制度上としては陣屋という扱いになりましたが、敷地は総構で南北約 650m、東西約 400mで、二重堀や鉄砲を撃つ狭間を設けた塀などもあり、規模としては城とも呼べるものでした。しかしながら、この時に「城」とならなかったことが、幕末維新期に新たな展開を迎えることになりました。

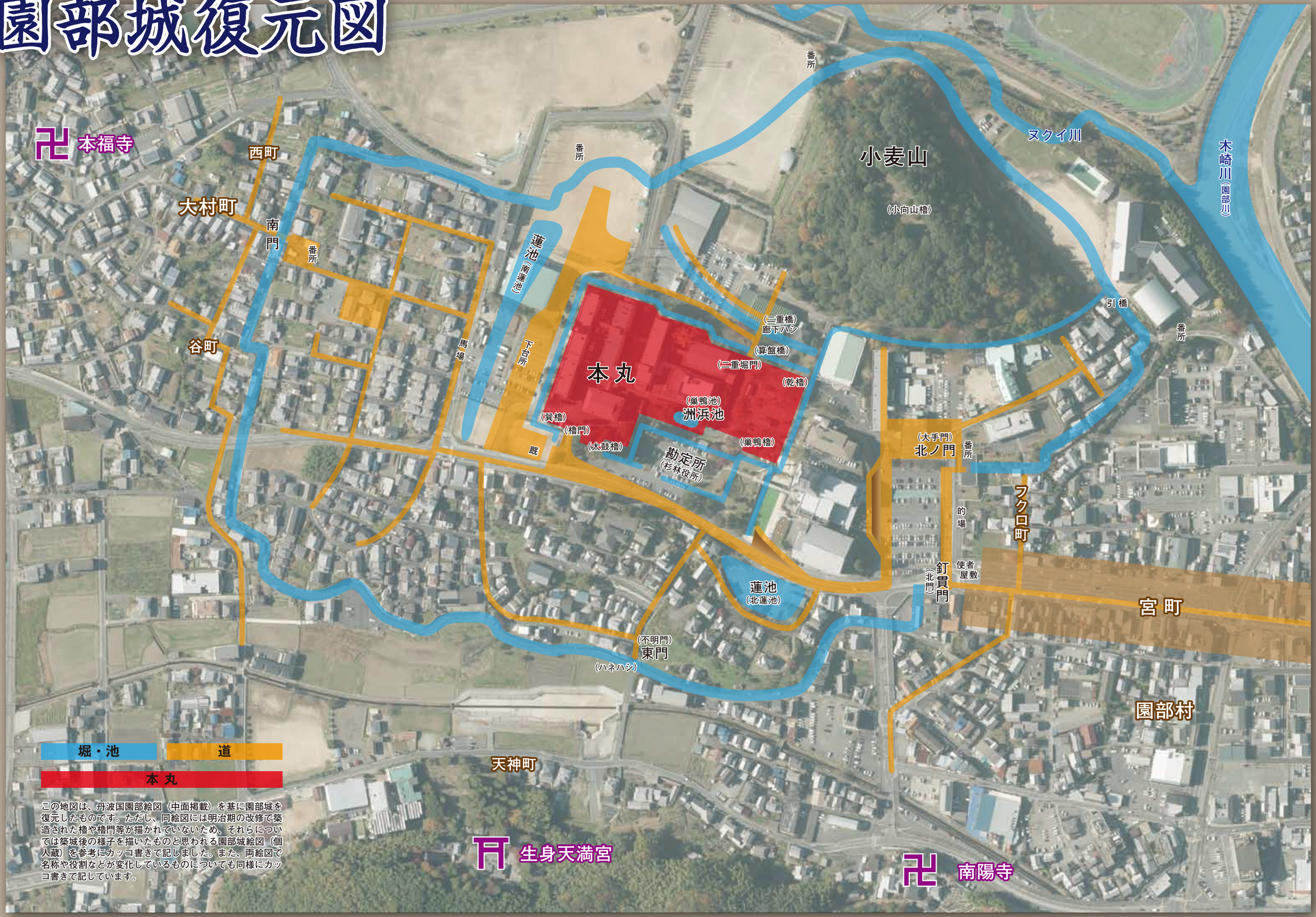
元治元年（1864）12 月、園部藩は幕府に対し、新規に櫓門３ヶ所、櫓９基、さらには、本丸以外の塀にも狭間を築造したいと絵図を添えて願い出ます。幕府へ提出した書状によれば、初代吉親の築造時には、塀に狭間を配置し、二重堀や櫓台まで完成していたが、その後に延期となったままであること、池田屋事件や禁門の変などの武力衝突が相次いで起こり、警備を厳重にすることを仰せ出されている情勢であること、また、園部は京都から近く、そういった際には要衝地ともなることなどが理由として述べられています。しかし、この時も築城は認められず、園部藩では引き続き幕府との交渉を行い、慶応３年（1867）10 月、ついに内諾を得ることができました。しかし、その直後に大政奉還が行われたため正式な許可が出ず、翌年の１月に改めて新政府に願い出ることになります。

新政府へ願い出た築城の理由も幕府へ提出したものと同内容でしたが、今回は「帝都御守衛」のためとして、すぐに認められました。そして、櫓門３ヶ所、櫓５基の普請が行われ、さらには堀も造成して園部陣屋は園部城へと生まれ変わったのです。

この築造時には、象徴的な建造物として、小麦山の山頂に櫓を建築したことが古文書や絵図などからうかがうことができ、また明治 42 年（1909）発行の『船井郡案内』には明治 20 年頃まで存在していたと記載されています。しかし、古写真などは残っておらず、どのような建造物であったのか詳細は不明です。

当初の築造から約 250 年を経て櫓などを建築し、新たに園部城となったわけですが、園部藩の政治的な拠点としての役割は短く、明治４年（1871）には廃藩置県が実施され、藩は廃止されて園部県となり、園部城には園部県庁が設置されます。しかし、園部県はすぐに廃止となって京都府に編入され、園部県庁にかわって京都府園部支庁が設置されました。そしてその後、園部城の敷地や建物は官有地や民間に払い下げられるなどして、多くは取り壊されてしまいました。現在、園部城の中心部は京都府立園部高等学校および附属中学校の校地となり、明治２年（1869）に建てられた櫓門・番所・巽櫓は、現在でも同校の校門として利用されています。また、南丹市八木町の安楽寺には園部城から移築したと伝えられる太鼓櫓が現存しています。

園部城復元図



堀・池　道

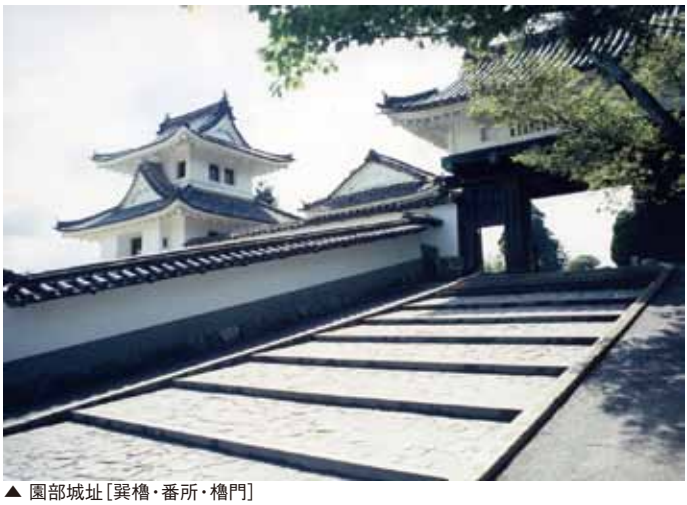
本丸

この地図は、丹波国園部絵図（中面掲載）を基に園部城を復元したものです。ただし、同絵図には明治期の改修で築造された櫓や櫓門等が描かれていないため、それらについては築城後の様子を描いたものと思われる園部城絵図（個人蔵）を参考にカッコ書きで記しました。また、両絵図で名称や役割などが変化しているものについても同様にカッコ書きで記しています。

■園部城略年表

西暦	元号	年	月	事　項
1619	元和	5	—	初代園部藩主小出吉親、小麦山周辺に城地の築造を開始。
1621	〃	7	—	園部陣屋完成（幕府の指示により櫓の築造は認められず）。
1830	文政	13	7	文政京都地震により園部陣屋の練り塀が破損。
1864	元治	元	12	園部藩主小出英尚、幕府に対し櫓門３ヶ所、櫓９基の新築を願い出る（不許可）。
1867	慶応	3	10	藩主英尚、引き続き交渉を行っていた櫓等の新築に対し幕府の内諾を得る（大政奉還により中止）。
1868	〃	4	1	藩主英尚、新政府に改めて櫓等の新築を願い出て許可を得る。
〃	〃	〃	④	園部藩、府藩県三治制により園部藩となる。
1869	明治	2	2	藩主英尚、版籍を奉還し藩知事となる。
〃	〃	〃	—	園部陣屋（藩庁）に櫓５基・櫓門３ヶ所が完成、園部城となる。
1871	〃	4	7	廃藩置県により園部県設置（藩知事英尚、東京への移住を命じられる）。
〃	〃	〃	11	府県統合により園部県廃止、京都府管轄となる。
〃	〃	〃	12	園部城に京都府出張庁開設。
1872	〃	5	3	京都府出張庁が京都府園部支庁に改称される。
〃	〃	〃	4	園部城内の建物が払い下げられる。
1876	〃	9	11	園部支庁内に第五区域方面出張所（翌年園部警察署に改称）が設置される。
1879	〃	12	10	京都府園部支庁廃止（支庁建物は警察署に引き渡し）。
1890	〃	23	9	船井郡高等小学校が園部城址に新築移転（明治 25 年閉校）。
1892	〃	25	10	船井郡園部高等小学校が開校（明治 41 年閉校）。
1907	〃	41	4	船井郡立高等女学校が開校。
1923	大正	12	1	郡立高等女学校が京都府立園部高等女学校となる（大正 15 年閉校）。
1926	〃	15	4	京都府立園部中学校が開校。
1948	昭和	23	4	学制改革により府立園部中学校が京都府立園部高等学校となる。
2006	平成	18	4	府立園部高等学校に附属中学校を併設。

○で囲んだ月は閏月



▲ 園部城址［巽櫓・番所・櫓門］

▼ 太鼓櫓（八木町・安楽寺）

■ 編集・発行
南丹市教育委員会社会教育課
〒622-8651
京都府南丹市園部町小桜町 47
TEL：0771-68-0057
FAX：0771-63-2850
平成 29 年 3 月発行